

第21回 意見交換交流会 アンケート結果

あなたの年代()、性別(男・女)、地区()を記入ください。

年 齢	回 答
20代	3
30代	4
40代	7
50代	5
60代	12
70代	12
80代	1
性別	
男	16
女	24
不明	9
地 区	
那加	11
鵜沼	14
稲羽・川島	4
蘇原	11
その他	3

問1 あなたが所属する団体に○を付けてください。

1. シニアクラブ会員	3
2. 民生・児童委員会 所属	13
3. 医療看護職	8
4. 介護職	11
5. 所属なし	5
6. その他(民間ボランティア等)()	10

問2 今回の意見交換交流会は何で知りましたか。○を付けてください。

1. 福祉村情報誌	10
2. 友人、知人、家族	2
3. 掲示チラシ	9
4. 職場の案内	15
5. 所属する団体の集会	15
6. 福祉村会員用郵便物	10
7. その他(地区社協、)	3

問3 今日の講演を聞いて、かかりつけ医を持ちたいと思いますか。いづれかに○を付けてください。

- | | |
|--------------|----|
| ①かかりつけ医を持ちたい | 41 |
| ②かかりつけ医はいらない | 0 |
| ③よくわからない | 3 |

[その理由をお書き下さい]

- ・私の身体全体を知って頂くために、アドバイスを頂きたいので。
- ・持病があり、今後の経過や薬も常時必要なため、自分の体の状態を知ってもらった方が安心。
- ・最近では医療も専門化しているので内科眼科等自分の言っている病院は決まっています、困ることはないのです。カゼ気はインフルエンザの予防接種が一番近い(歩いて5分)医者へ行っている
- ・以前より(十数年前)から持っている。
- ・現状自覚症状はない。
- ・病気に関して、何でも気楽に相談できる医者が近くにあるといいと思います。
- ・自分の健康状態を見守ってほしいから。
- ・持っています。
- ・全体管理ができる。
- ・在宅医療を今後地域に根付かせるためにも、自分の症状を理解してもらえるかかりつけ医の重要性を感じた。
- ・じっくり相談できるDrが見えるといいと思います。
- ・必要に思う、相談できる医師。
- ・もう少し年を取ったら真剣に考えたい。
- ・持病があるから。持病持。
- ・何かあった時に信頼、今でも情報を解ってもらっている。
- ・自分の身体を知ってもらえる。
- ・年齢と共に病気が気になってきました、近くに相談できる病院は必要と思う。
- ・いま、考え中。
- ・安心してお話ができる、自分の不安を少しでもなくなると思う。第一回目でその先生の対応で選ぶ。
- ・自分の事を知ってもらえるDrがいるのは安心。
- ・気心の知れた医に自分のすべてを任せたい。
- ・既に持っています。
- ・自分の全体を解って頂ける医者がいつと安心である。
- ・かかりつけ医を育てたい。
- ・持っています。
- ・私たち患者も勉強が必要。
- ・最後は家で終わりたい、冷たい病棟では嫌です。
- ・医療に関する総合相談窓口が必要であると考えするため。
- ・身体の状態を知ってもらっているという安心。

問4 かかりつけ医を選ぶとしたら何を判断基準としますか。複数回答可

①自宅から近い	42
②医師の年齢	4
③医師の性別(同姓がいい等)	2
④先生との相性	38
⑤病院の規模(個人病院がいい。入所施設のある病院がいい等)	3
⑥その他()	3

[その理由をお書き下さい]

- ・身体が弱っても通えるところ。
- ・話をきちんと聞いて、向き合ってもらえると不安が解消する。
- ・医者が親密に心寄り添って話を聞いてくれる、治すために努力することなどを明確にアドバイスしてくれる。
- ・私達一人ひとりの患者さんに解り易く説明をしてくれる医者を選びたいと思います。医者と患者との信頼関係が必要だと思えます。
- ・話しやすい。
- ・話をしっかり傾聴して必要時にほかの専門分野を紹介してくれる表情を見てくれる医師。
- ・年を取ると遠くに行けない。
- ・身近に感じたいから。
- ・通院に便利。
- ・すぐに駆けつけることができる。
- ・通院に便利
- ・第一回でお会いした時の話し方、よく聞いているかで安心をする。
- ・病気なのに遠いところへ通うのはしんどい。先生が嫌いだとストレスがさらに大きくなるし、言いたいことが言えなくなる。
- ・家族そろってかかりつけ医がいるのでそのまま、先生の相性が良い。
- ・婦人科の場合はジョイさんがいい。
- ・自分の病院について相談しやすいかどうか。
- ・通いやすい。
- ・通いやすさは重要。
- ・専門職にしてみれば当然と言う事も分からず、質問した時「そんなことも知らないのか?」「そんなことまで支持が必要なのか?」という。メッセージが伝わらないような態度をされると何も聞けなくなりますし、次に行くとき躊躇してしまいます。
- ・自宅が近いのがよい、近くに医院が無いので、自分の身体状況にあった(それに近い)先生の委員となります。
- ・イザとなったら助けてくれる医師。
- ・近く、やっぱり先生との信頼が大切。
- ・交通費は保険がきかない。
- ・信頼する先生に診てもらいたい。
- ・歩ける範囲にあることが重要。
- ・すぐに駆けつけてもらえる、通いやすい。

問5 今後の意見交換交流会で、取り上げて欲しいテーマは何ですか。

○を付けてください。(複数回答可)

1. 認知症	17
2. 介護予防(健康づくり)	13
3. 地域で行われている福祉活動の紹介	21
4. 在宅医療・介護	22
5. 介護保険のサービス	7
6. その他()	1

問6 患者として、今後医師に何を期待しますか。

ご意見・ご要望や本日の感想等、自由にご記入ください。

回 答

・在宅医療の充実。

・医師会の連携など普段聞けない話も聞けて良かったです。なかなか医院の情報が入りにくいので今後も機会があれば情報収集をしたい。

・待ち時間を短縮する工夫は医療をしてほしい(予約してあっても)

・信用信頼のおける雰囲気づくり、紹介を気兼ねなくできる。

・健康リーダーの柱となる医師。

・医師が患者住民に近づく。

・悩んでいる病気をよく聞いてくれる先生。

・楽しい意見交換できた

・患者にもう少し時間を使ってほしい。

・手術の中心は医師かも知れませんが、手術器具を準備、片づけるメンバーがいて国保連に請求する人がいて、とチームで仕事をしていることを解って欲しい。書類をお願いすると「これは僕の仕事?」「僕がやらなきゃダメなの?」と言われると大変困ります。是非医学部で教えてください。

・ふるさと福祉村が続いていることが有難いです。

・医師の中で能力に差がある。

・先生に触診で・・・医療機器もよいが総合診療的診察を望む(問診重視)。もっと、話を聞いてもらいたい。

・介護に対する連携にご理解ご協力を頂きたい。

・丁寧に話を聞いてくれる、解り易く病気を説明してくれる。